

刑事訴訟法（講評会）・レジュメ

弁護士 石黒大地

0 自己紹介

1 今回の問題の特徴

2 設問 について

- ・一罪一勾留の原則
- ・「一罪」の意義
- ・例外
- ・当てはめ

3 設問 について

- ・訴因追加の可否（刑訴法 312 条 1 項）
- ・「公訴事実の同一性」
- ・非両立性基準と共通性基準
- ・単一性を論じる場合の原則と例外
- ・当てはめ

4 採点・添削者からのコメントまとめ

5 おわりに

以上

刑事訴訟法（講評会）・答案例

弁護士 石黒大地

第 1 設問 について

1 問題の所在

本件勾留の対象となっている常習傷害罪の被疑事実は、すでに勾留された平成 28 年 1 月 14 日の傷害の被疑事実と一罪の関係にある場合がある。

そこで、本件勾留が、一罪一勾留の原則に反し、違法とならないかが問題となる。

2 一罪一勾留の原則

一罪について複数の勾留を行うことは原則として許されない。そして、「一罪」とは、刑罰法令との一貫性から、実体法上の一罪と解する。

もっとも、同時捜査・処理が不可能な場合（新たな犯罪）、困難な場合（未発覚の犯罪）の場合には例外を認めるべきである。なぜなら、捜査段階では事態の流動性は不可避であり、これらの場合に同時捜査・処理を強いるのは酷だからである。

3 本事案の検討

本件において、本件勾留の対象である被疑事実は、すでに勾留された平成 28 年 1 月 14 日の被疑事実と常習傷害罪という実体法上一罪の関係にあるから、一罪一勾留の原則が妥当する。

もっとも、本件勾留の被疑事実は、平成 29 年 1 月 31 日に被害届が出されたことによって発覚したものであり、傷害罪は一般的に被害届が出されなければ発覚しにくいため、同時捜査・処理は困難といえる。

したがって、例外に該当する。

4 結論

よって、本件勾留は、一罪一勾留の原則に反しないため適法である。

第 2 設問 について

1 問題の所在

裁判所による訴因の追加を認めるべきか否かについて、「公訴事実の同一性」（刑訴法 312 条 1 項）を害しないかが問題となる。

2 「公訴事実の同一性」

「公訴事実の同一性」とは、基本的事実関係の同一性をいう。

そして、被告人に対する刑事責任追及事由の内訳として事実上も法律上も併存ないし両立しうる訴因の追加は、原則として許されない。なぜなら、刑訴法 312 条 1 項の趣旨は、処罰関心の拡張を禁止することにあると解されるからである。

もっとも、新旧訴因間に実体法上一罪の関係が認められる場合には、処罰関心が拡張するとはいえないため、例外的に訴因の追加が許される。

3 本事案の検討

本件において、新旧訴因は、別の機会の犯罪であり、いずれも傷害罪が成立するものであるから、X に対する刑事責任追及事由の内訳として事実上も法律上も併存ないし両立しうる。

もともと、新旧訴因は、以下の点で常習性の発露として行われたと認められ、常習傷害罪という実体法上一罪の関係といえる。

すなわち、日時が平成 28 年 10 月 30 日と同年 11 月 4 日で 6 日間という非常に近接した期間で行われたものであり、経緯としていずれも傷害に至るほどの理由はなく、犯行態様も一方的かつ連続的に暴行を加える点で共通しているからである。

したがって、例外に該当し、訴因の追加が許される。

4 結論

よって、本件における訴因の追加は適法であるから、裁判所は、訴因の追加を認めるべきである。

以上

1 主要な法的問題点（論点）を正しく抽出することができなかった方

基本的な知識の不足が疑われます。お手持ちのテキストで、逮捕・勾留，訴因変更の該当箇所を復習してください。

その際には，あまり深いところまで入り込まず，基本的な規定の内容や趣旨をおさえてください。

知識を入れる際には，答案にどのように書くかまで明確にイメージした上で，記憶してください。

2 論点の抽出はできたが，規範をうまく書けなかった方

規範の内容と趣旨をもう一度覚えなおしてください。

規範は，キーワードをおさえて，なるべくコンパクトに書けるようにしてください。

3 規範はうまく書けたが，あてはめをうまくできなかった方

規範の意味を正しく理解できていない可能性があります。

規範の内容と趣旨を再度確認した上で，問題文の事実を見直してください。

さらに，関連判例の事案を確認して，どの事実がどのように評価されているかを参考にしてください。

4 今回の答案で確実に合格できるという自信がある人以外は，必ず，短めに時間を設定して，再度，答案を作成してください。

以上は，今回の問題に限らず，過去問の検討などでも参考にしてみてください。

特に，今年受験する方は，スピード感をもって，繰り返し，過去問の答案作成をしてください。毎日，複数通の答案を書くことを勧めます。

自分を信じて，がんばってほしいと思います。